

隠岐の島町 地域おこし協力隊 年間活動報告書

<1期 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで>

隠岐の島町 農林水産課 水産振興係
地域おこし協力隊 近藤太郎

一.地域おこし協力隊の活動内容

- (1) 地域産品の PR
- (2) 地域特産品の島内外での PR 活動
- (3) 地産地消の推進
- (4) 地域資源の発掘と活用

二.30 年度で行った主な活動

| |
|---|
| 4 月 |
| 各関係者との顔合わせ ふるさと新聞 ふるさと直売場理事役員会 水産多面的事業説明会 隠岐水産高校「水産多面的機能発揮対策(水産多面的機能発揮事業)」説明会 |
| 5 月 |
| ふるさと直売所理事役員会 ふるさと新聞 学校給食センター供給率向上にかかる意見交換会 ふるさと給食にて尾頭付きマアジの提供可能か協議 ふるさと直売所総会 |
| 6 月 |
| 隠岐の島町畜産センター完成披露式典 隠岐高校・水産局・役場協働連携協議 第 13 回隠岐の島町ウルトラマラソン前夜祭 ふるさと直売所理事役員会 学校給食における地産地消に向けた意見交換会 |
| 7 月 |
| 畜産センター初競り運営補助 隠岐高校にて行う隠岐支庁水産局の水産教室についての協議 ジョブフェア動員 ふるさと給食における尾頭付きマアジの試験調理 学校給食自給率向上に向けての生産者との協議 内閣府と地域おこし協力隊との意見交換会 いきいき祭産業部会 |

| |
|---|
| 8月 |
| <p>学校給食における学校給食センター供給率向上にかかる意見交換会 公益財団法人 ふるさとしまね定住財団主催定住塾オリエンテーション・意見交換会 ふるさと直売所理事・役員会</p> |
| 9月 |
| <p>都万小学校 水産教室（座学＋調理実習） 隠岐高校 水産教室（座学＋調理実習） 隠岐水産高校にて中条小学校種苗放流体験 マダイ種苗放流 ふるさと直売所理事役員会 西郷中学校水産教室（座学＋調理実習） 第8回輝け11（イレブン）しまね町村フェスティバル</p> |
| 10月 |
| <p>食品表示研修会 いきいき祭産業部会 Japan Times Satoyama 推進コンソーシアム実践者交流会・中国5県地域おこし協力隊研修会・神石高原町ふるさと回帰塾</p> |
| 11月 |
| <p>五箇中学校にてふるさと給食に伴う水産教室の協議 畜産センター競り ふるさと直売所品質管理検討会 五箇中学校・都万中学校・西郷中学校・西郷南中学校、ふるさと給食水産教室 いきいき祭をBSSラジオ「午後はドキドキ！」にて紹介するために出演 いきいき祭</p> |
| 12月 |
| <p>ふるさと直売所理事役員会 地域資源を活用した商品サービス開発セミナー 隠岐のカニ籠漁についてBSSラジオ「午後はドキドキ！」にて紹介するために出演 いきいき祭産業部会 しまね協力隊FES!及びJOIN地域おこし協力隊クリスマスミーティング 学校給食における学校給食センター供給率向上にかかる意見交換会 ふるさと給食にて提供した尾頭付きマアジの結果についての協議</p> |

| |
|--|
| 1月 |
| 隠岐水産高校 課題研究発表会 学校給食における地産地消推進に向けた意見交換会 ふるさと直売所理事役員会 有木小学校 水産教室 |
| 2月 |
| 学校給食（魚食普及活動）打ち合わせ 30年度 漁業集落 魚食普及活動 『おさかなの日』1回目 ふるさと直売所理事・役員会 30年度 漁業集落 魚食普及活動 『おさかなの日』2回目 |
| 3月 |
| 西郷家畜市場競り 学校給食・生産者意見交換会 |

三.活動内容

1.地域製品の PR ・ 地域特産品の島内外での PR 活動

第 13 回隠岐の島町ウルトラマラソン前夜祭

毎年行われているウルトラマラソン前夜祭にて島内外の参加者へ隠岐の食材を使った料理、地酒を提供。

【提供した料理】・藻塩米・地酒・刺身盛り合わせ・漬物・アゴボール・隠岐そば



第 8 回輝け 11 (イレブン) しまね町村フェスティバル

松江市 TSK テレビの特設会場にて行われた島根県 11 町村が参加するイベントへ隠岐の島町の地酒、地元食材を使った料理 (バイ炊き込みご飯、バイ貝、隠岐そば、うどん等) を販売。

【隠岐の島町ブース】



BSS ラジオ「午後はドキドキ！」の一部のコーナーに出演 (2 回)

同地域おこし協力隊の丸田氏の依頼により 11/21 と 12/12 に 2 回出演。

- ・ 1 回目、11 月に行われたいきいき祭りの紹介。
- ・ 2 回目、隠岐の貴重な財源であるカニかご漁について説明。

ふるさと給食にて尾頭付きマアジの提供

子供の頃から尾根付きの魚をきれいに食べられるようになるために、学校給食にて行われているふるさと給食に尾頭付きマアジを提供する試み。

今年度は、学校給食に提供可能かどうか調査する目的もあった。提供する魚は、浜田市のブランド鮭『どんちっちアジ』を使い実施。提供可能な場合は、次回から隠岐の島町の魚を使い、自給率向上も視野に入れ提供できるようにしていく。結果的に提供は可能な範囲という結果だったため、来年度は地元の魚で提供していく方針。

【提供された尾頭付きマアジ】



水産教室（座学＋調理実習）

実施校 五箇中学校 都万小学校 有木小学校
西郷中学校 西郷南中学校 隠岐高校

隠岐の島町の生徒たちへ、自分たちが住む隠岐の島町にとっての漁業は、どのような役割を担っているか、漁業はどのようなものがあるのか、というものを知ってもらうために実施。更に地元で取れた魚を使い、幼少の頃から魚介類に慣れ親しみ、調理法を学んでもらう目的で調理実習も実施。

【水産教室及び調理実習の様子】



ふるさと直売場理事役員会・総会・品質管理検討会

西郷港の直ぐ側に店舗を構えるふるさと直売所あんき市場。

地元の生産者が直接卸す新鮮な農海産物の品質を維持し、地産地消及び生産者の所得向上のため品質管理検討会を実施。

【総会及び品質管理検討会の様子】



学校給食センター供給率向上にかかる意見交換会

地産地消を目的とし、新鮮な地元の生産者が作る農産物を学校給食へ卸していただき、生徒たちへ地元の野菜を身近に感じてもらい、学校給食センターでの地元食材の供給率向上を目指すため実施。

生産者との直接協議し今年度は夏場の日照り等で不作に見舞われながらも前年度を上回る供給率向上が見られた。来年度も引き続き今年度を上回れるようにしていきたい。

【地元生産者から学校給食へ出荷された新鮮な野菜】



隠岐水産高校にて中条小学校種苗放流体験

隠岐水産高校が種苗している魚を中条小学校の生徒たちが放流し隠岐の魚を身近に感じてもらうため実施。

マダイ種苗放流

西ノ島にて、種苗しているマダイを隠岐の島町内海域へ放流し、隠岐の島町の将来的な漁獲量を向上させる目的で実施。

【放流の様子】



30年度 漁業集落 魚食普及活動 『おさかなの日』

漁業集落の魚食普及の一環としてJFの女性部に協力していただき、とれたての新鮮な魚介類を一次処理（頭を落とす、鱗を落とす等）した商品を販売し、気軽に魚介類を食べていただこうという目的で実施。

【商品加工の様子及び商品、販売の様子】



年度総括

地域おこし協力隊として第1期が終了した。今年度は、『隠岐の島町を知らなくては島外へのPRや情報発信をすることができない』という思いがあり、地産地消、自給率向上といった島内での活動を重点的に行なった。

第1期の活動を通して感じたこととして、学校給食、種苗放流体験、水産教室など、子供達へ対しては多く取り組まれていると思われた。一方、子供たちを育てる親の世代達への取り組みは比較的少なく感じた。さらに、おさかなの日を実施した際に、購入者の声として、「自分でさばくことができないので助かる」「処理した際に出るゴミの処理が無いのは嬉しい」「一人暮らしで揚げ物などを少量作るのは手間敬遠していた」等の声があり、地域差はあるのだが、子供達のために料理をする親が魚をあまり裁かない傾向にあるという部分も見られた。来年度は『魚を食べてもらう』だけでなく『魚の1次処理を出来るようにする』目的の活動を行えるような活動を考え、生徒達だけでなく広い世代へPRにも力を入れていきたい。

漁業関係については、直接漁業者と協議し、UIターンフェアなどを活用し、高齢化対策や、人材不足などの課題解決に向け取り組んでいきたい。さらに、UIターンフェアなどに参加することにより、島外へ向けての隠岐の島町のPRの効果も得られるので積極的に参加し、今年度以上にPR活動にも力を入れていきたい。

地域資源発掘と活用について、今年度は触れることができなかった。そのため、来年度は、漁業関係としては各漁業集落に設置された施設を活用し、積極的に活動していきたい。農産物、観光資源などは現在着任している協力隊への協力も仰ぎながら、発掘、活用出来るよう活動していきたい。

今年度の経験を第2期に活かし、隠岐の島町へ貢献できるよう精進していきたいと思う。

四.次年度の活動計画内容

1. 地域産品の PR

- (1) ウルト라마ラソン前夜祭
- (2) 輝けイレブン
- (3) しまね協力隊 FES 及びクリスマスミーティング
- (4) その他島内外へのイベント

2.地域特産品の島内外での PR 活動及び地産地消の推進

- (1) ふるさと新聞
- (2) 各学校での水産教室
- (3) ふるさと直売所に関するもの
- (4) 学校給食センター供給率向上に関するもの

3.その他

- (1) 地域おこし協力隊研修会及び実践者との交流会